

じ しん

もし地震がおきたら



地震が起きたら、まず自分の身を守ることが大切です。先生がいけないときなど、いざというときにどうしたらいいか覚えておきましょう。

【教室では】

- あわてて外へ、とび出さない。
- 机の下のもぐりこもう。
- 机のあしをしっかりとにぎろう。
- しずかに待とう。

【廊下では】

- 廊下の中央にしゃがもう。
- 頭の上に手をのせよう。
- 余裕があるときは、近くの教室の机の下にもぐりこもう。

【トイレでは】

- 個室に入っているときは、すぐにドアを開けよう。
- しゃがんで頭の上に手をのせよう。
- あわてず、じっとしていよう。

【図書室では】

- あわてて外へ、とび出さない。
- 本棚からはなれる。
- 机の下のもぐりこもう。

【体育館では】

- あわてて外へ、とび出さない。
- 窓ガラスや照明の下からはなれる。
- しゃがんで頭の上に手をのせよう。

【運動場では】

- 倒れやすいものから、はなれるよう。
- しゃがんで、あわてずじっとしていよう。
- 運動場の真ん中に移動しよう。

【理科室では】

- あわてて外へ、とび出さない。
- 机の下のもぐりこもう。(机の下にもぐれないときは、本を頭の上にのせてしゃがもう)
- ゆれがあったら、アルコールの火を消そう。

【家庭科室では】

- あわてて外へ、とび出さない。
- 本を頭の上にのせてしゃがもう。
- ゆれがあったら、火を消し、ガスの元栓を閉めよう。
- 熱湯や危険な道具からはなれよう。

【通学路では】

- 登校中は、学校へ、ひなんしよう。
学校にこられないときは、近くの空き地にひなんしよう。
- 下校しているときは、学校にひきかえすか、近くの空き地にひなんしよう。

【大切なこと】

- ゆれがおさまるまで、じっとしておこう。
- 放送をよく聞こう。
- 先生の指示に従おう。
- ひなん場所について、家族と話しておこう。

避難のあいことば **おさない** **はしらない** **しゃべらない** **もどらない**